



脱炭素推進・SDGs達成へ連携強化

京阪ホールディングス(株)と5月12日包括連携協定締結

市は5月12日、京阪ホールディングス株式会社(大阪市中央区大手前1丁目7番31号)と「持続可能な地域社会の実現に向けた包括連携協定」を締結する。

今回の連携協定は平成24年8月に市と京阪電気鉄道株式会社(現・京阪ホールディングス株式会社)が締結した協定内容を発展させるもので、脱炭素社会の推進やSDGsの達成による持続可能な地域社会の実現に向けた取り組み等について、京阪グループでの連携・協働へと取り組みを強化する。本協定では、EV(電気)バスの導入、充電設備整備の検討や環境教育におけるひらかたパークの活用などの取り組みを実施する予定。

協定の調印式は5月12日(木)午後1時、市役所別館4階市長応接室で行う。

★市と京阪電気鉄道株式会社は平成24年8月に包括連携協定を締結し、これまで枚方市駅周辺再開発事業や健康づくり推進事業「ひらかたカラダづくりトライアル」への協力など様々な取り組みを進めてきた。協定締結から10年となる今年、改めて京阪ホールディングスとの協定を締結し、内容の発展と今後の連携を強化する。

★目標とする持続可能な地域社会に向けて、市は令和2年に府内市町村初となる「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言し、脱炭素に取り組むモデル事業「ネット・ゼロシティ Hirakata style (※)」を推進している。

※「ネット・ゼロシティ Hirakata style」とは、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー設備の設置や再生可能エネルギー由来電気の利用を促進するとともに、電気自動車を再エネ由来の電気で充電するゼロカーボン・ドライブの普及等の取組を市域に拡大していくことで、エネルギーの地産地消を実現し、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」と地域の抱える課題の解消の同時解決を目指している。

★京阪ホールディングス株式会社は平成26年から「京阪版SDGs」である「BIOSTYLE (※)」を提唱し、京阪グループでBIOSTYLEの実現を目指した「BIOSTYLE PROJECT」を推進している。

※BIOSTYLEとは、京阪グループが提案する「楽しみながら、健康的で良いものを自分らしく取り入れるライフスタイル」。「BIOSTYLE」=「京阪版SDGs」として、グループ全体で推進。持続可能な社会に貢献できる商品・サービス・事業を創り上げることを目指している。

★今後は相互の協力関係をさらに深め、脱炭素社会の推進やSDGsの達成に向けて連携した取り組みを進める。

★連携協力事項（分野）

- （１）脱炭素推進に関すること
- （２）公共交通機関の利用促進に関すること
- （３）地域における教育や次世代育成に関すること
- （４）安全安心で魅力ある地域づくりに関すること
- （５）2025年大阪・関西万博に関連した地域づくりに関すること
- （６）その他、双方において相互の連携が必要と認められること

★主な取り組み内容

- ・京阪バス株式会社におけるEV（電気）バスの導入、充電設備整備の検討
- ・省エネルギー活動及び再生可能エネルギー利用の拡大による脱炭素の推進
- ・環境教育におけるひらかたパークの活用
- ・SDGs（BIOSTYLE）に関する教育活動の実施
- ・淀川舟運と地域の観光歴史資源を活用した地域活性化の推進
- ・その他、2025年大阪・関西万博に関連した地域づくり、各種事業への協力 等

★協定締結式の概要

日時：令和4年5月12日（木）午後1時～1時30分

場所：市役所別館4階 市長応接室

出席者：

【京阪ホールディングス株式会社】 代表取締役社長 石丸 昌宏

【枚方市】 伏見 隆 市長

<お問い合わせ>

総合政策部 企画政策室 政策推進課 ☎ 072-841-1149 FAX 072-841-3039